

| | |
|--------------------------|---|
| 会 議 | 令和4年度 第2回幸田町総合教育会議 議事録 |
| 日 時 | 令和4年11月8日(火) 開会 午前9時 閉会 午前9時50分 |
| 場 所 | 幸田町役場4階 第3第4委員会室 |
| 構 成 員 | 町 長 成瀬 敦 教育委員会 教育長 池田 和博 教育委員会 委 員 立花 千加子 教育委員会 委 員 伊藤 秀雄 教育委員会 委 員 壁谷 昭代 教育委員会 委 員 中西 雅俊 |
| 欠 席 構 成 員 | なし |
| 傍 聴 者 | なし |
| 構成員以外の出席者 | 副 町 長 大竹 広行 企 画 部 長 成瀬 千恵子 企 画 政 策 課 長 稲熊 公孝 企 画 政 策 課 主 幹 柴田 淳一 企 画 政 策 課 主 査 服部 紗矢 住 民 こ ど も 部 長 牧野 宏幸 住民こども部次長兼こども課長 三浦 正義 教 育 部 長 吉本 智明 学 校 教 育 課 長 山崎 二郎 学 校 指 導 担 当 課 長 小嶋 智香 学 校 教 育 課 長 補 佐 近藤 京子 教育部次長兼生涯学習課長 菅沼 秀浩 |
| 会議に付した案件 | ○議題(1) 町民プール建屋内湿度・外壁及び防水調査の結果について ○議題(2) 小規模保育事業及び事業所内保育事業の施設開設について |
| 決 定 事 項 及 び 主 な 意 見 等 | ○議題(1) ・事故のない安全な町民プールの運営をお願いしたい。 ○議題(2) ・保育料など、民間の保育事業所と町立保育園で大きな差がないようにしてもらいたい。 ・子どもの将来のことを考えて、町としても幼児教育に力を入れてほしい。 |

| 発言者 | 発言の主な内容 |
|------|--|
| 企画部長 | ○開会の言葉 |
| 町長 | <p>○挨拶</p> <p>天候に恵まれ、様々なイベントが順調に進んでいる。年末年始にかけてコロナの数も減らず、増えている点は心配である。小中学校のインフルエンザ対策もしていかななくてはならないと考えている。そんな中でも経済を活性化させようと町内飲食店で使えるうまいもんチケットの第2弾を配布した。各家庭で楽しんでもらいたい。</p> <p>11月3日、4日には、島原市と姉妹都市提携を結んで5年を記念して、約80人の島原市民の方が訪問してくれた。その際には教育委員の皆様を始めとする町民の方々に温かく迎えていただいた。この場をもって感謝するとともに今後も様々な分野で交流が続いていくことを期待している。また刈谷市の歴史博物館で、深溝松平家企画展が行われている。島原の訪問団の方々には時間がなく、立ち寄ってもらえなかったが、深溝松平家の多くの資料展示があり、今回初めて知るような内容もあった。</p> <p>また豊坂小学校の150周年式典があったが、これから深溝小学校、坂崎小学校も150周年記念が続いていく。豊坂小学校のすもう大会では、国際大会での優勝経験のある坂崎出身の柴田さんに来てもらった。子どもたちが元気になるイベントはこれからも積極的にやっていきたいと考えている。また運動に関しては、菱池遊水地の話をしていきたい。遊水地は24ヘクタールで、県に管理運営権があるが、日頃の管理については町に任せてほしいとお願いしている。それは、この広い場所を広田川菱池遊水地緑地運動公園として、サッカー場やラグビー場、ドッグラン、ミニバスケットコートなどとして活用していきたいからである。これから様々な意見を聞いて計画していきたいと考えている。</p> <p>本日の議題は町民プール建屋内湿度・外壁及び防水調査の結果について、小規模保育事業及び事業所内保育事業の施設開設についてである。せっかくの機会であるので、ぜひ御意見をいただきたい。</p> |
| 教育長 | <p>○挨拶</p> <p>令和元年12月中国武漢で原因不明の肺炎を発症して以来、3年が経過する。園児、小中学校の児童・生徒の生活は大きく変わったが、工夫をしながら生活をしてきた。現在、増加傾向にあるのも大変心配している。今年度は授業参観、運動会、学芸会などの各種行事を少しずつ工夫して保護者に子どもの姿を見てもらおうと進めている。教育は子どもたちに夢を与えるのが仕事である。様々なことをできないといって制限するばかりでは子どもたちが育たないので、どうすればやれるのかを考えながらこれからも教育を進めたいと考えている。</p> <p>さて、総合教育会議は、町長の考え方と教育委員の考え方との意見の調整を図って教育の一層の充実を進めていくという趣旨である。町長</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>2期目にあたり、教育環境の整備、子育て支援を公約に掲げて進めているところである。本日の議題について、意見交換を通して共通理解を図り、一層の教育の充実を切に願い、あいさつとさせていただきます。</p> |
| 企画部長 | <p>○総合教育会議の概要について説明</p> |
| 町長 | <p>○議題(1) 「町民プール建屋内湿度・外壁及び防水調査の結果について」 生涯学習課に説明を求める。</p> |
| 教育部次長兼 生涯学習課長 | <p>町民プール建屋内湿度・外壁及び防水調査を実施する経緯から説明させていただきます。町民プールは平成10年に開館し、24年が経過している。令和元年度に天井が落ちてくる事件があり、令和2年度に天井関連の改修工事を実施した。それ以降、天井裏に結露、漏水が確認された。その原因を明らかにするために調査を実施した。調査については、建築的な側面、設備的な側面から実施をした。建築的な側面としては、外装材いわゆる外壁が劣化している状態を調査した。設備的な側面は、建屋内の風量測定、気流測定、エアバランスの確認を実施した。調査期間は令和4年2月から6月、調査会社は町民プールを設計した株式会社山下設計中部支社である。</p> <p>調査結果について、建築から説明する。まず屋上について、モルタル部分がひび割れていることより、雨漏りの原因となっている。また外壁部分はタイルのひび割れにより、漏水の原因となっている。2階の会議室の天井については、シミが目立っており、天井裏の鉄骨が錆だらけになっていた。湿気がひどく、劣化が進んだ状況であった。これら外壁や天井部分を直すのに要する費用は概算で9,620万円、工期は6か月である。続いて設備についてであるが、空調機械室に入っている、プール内の湿気を取り込んで外に一旦出して、外気を混ぜて町民プールの中に戻すという循環機械であるエアハンドリングユニットの不調がみられた。エアハンドリングユニットと排風機のエアバランス、外気の取り入れが上手くいかず、湿度の高いまま中へ送られており、機械の稼働が5割程度の力しか発揮できていない。この機械について取り替える必要がある。全体的に言うところの機械の部分に多く湿気が溜まり、湿気がそのまま滞留しているという状況である。これら建屋内の風量測定、気流測定及びエアバランスの確認に、概算で4,930万円、工期は10か月である。</p> <p>工事スケジュールについては、令和4年12月に4,930万円かかると説明した空調設備の債務負担行為、令和4年、5年の2年かけて工事をやるという予定で議会に諮っていく。令和5年1月には空調設備工事の入札を行い、1月工事を開始しておおよそ11月までかかる予</p> |

| | |
|----------------|--|
| | 定である。建築工事についても議会に諮り、令和5年4月に入札を実施する予定である。令和5年9月に工事をスタートさせるが、休館はしない。2つの工事完了予定は令和5年11月下旬である。 |
| 町長 | ○説明に対する意見聴取 |
| 立花委員 | ○意見 自分の子どもも大きくなり、利用することはなくなってしまったが、職場の子どもたちからは「夏に町民プールに行ったよ」という話はよく聞く。事故が起きてはならないので、安心して使用できるプール運営をお願いしたい。 |
| 壁谷委員 | ○意見 個人的には水中ウォークで使用していた。町内外からの利用も多いようなので、きちんと整備をしてこれからも継続して使用できる施設であってほしい。 |
| 中西委員 | ○意見 プールに関しては他の建物や施設とは違って特殊な部分があるので、どうしても修繕が必要になってくると思う。六栗区でも、六栗公民館が築50年近く経ち、屋上の傷み、漏水などが目立っていた。予算を取ってもらって、外装のひび割れ、塗装などの修繕を行なった。町の様々な施設が老朽化により、修繕が必要になってくるため、予算の確保などの対応が重要であると思う。 |
| 町長 | 町の公共施設の総合管理計画を見直すようにと国から指示されている。お話にもあったように老朽化した公共施設について、長寿命化をテーマに上手く維持していく計画づくりを始めるところである。 |
| 伊藤委員 | ○意見 深溝小学校のプールがなくなるということもあり、町民プールは守っていくという町の方針が出されたので、その方針を町民の方々にも浸透させていくことが大事だと思う。塩素を含んだ蒸気は、普通の場合と比べて腐食が早いので、必要などころにはきちんと経費をかけて守っていくことが大切だと思っている。 |
| 町長 | 維持管理についてしっかりと対応していきたいと考えている。 |
| 町長 | ○議題(2) 「小規模保育事業及び事業所内保育事業の施設開設について」 こども課に説明を求める。 |
| 住民こども部次長兼こども課長 | 町には、町立保育園8園、私立認定こども園が2園、私立幼稚園が2園、認可外保育施設が3施設ある。また地域型保育事業施設もある。地域型保育事業とは、町が定める基準を満たし、町が認可した0歳児から2歳児までのみを預かる保育事業である。原則、19人以下の少人数保育のため、一人一人にきめ細やかな対応ができ、子どもにとって親しみやすく安心感がある保育環境が特徴である。この地域型保育事業の中 |

| | |
|------|--|
| | <p>に小規模保育事業と事業所内保育事業がある。小規模保育事業については定員6人から19人の少人数を対象にしており、家庭的保育に近い雰囲気のもと、個々にあったきめ細やかな保育を行うことのもので、町内には、リトルラビット保育園、Kids school さくらんぼ幸田、Kids school でんでんむしハウス、ももの木保育園、ゆめのき保育園の5施設ある。事業所内保育事業とは、事業者の保育施設などで従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育するもので、現在町内にはない。今回、新たに2件の認可申請があったので報告する。</p> <p>1つ目は、施設名「うさぎの丘保育園」で、種類は小規模保育事業A型で2歳児19人を受け入れる。A型というのは必要保育従事者全員が有資格者、保育士の資格を持っているものである。場所は豊坂小学校の東側辺りで、すでに小規模保育事業施設として運営しているリトルラビット保育園に隣接する。この申請により、リトルラビット保育園については今後、0歳児及び1歳児の専用施設となり、うさぎの丘保育園は2歳児専用施設となる。認可開設予定日は令和5年1月1日である。</p> <p>続いて2つ目は「ハピネス保育園」で、種類は事業所内保育事業A型で、0歳児3人、1歳児8人、2歳児8人、合計19人を受け入れる。設置場所は大草の国道248号線沿いにあるハピネス歯科こどもクリニックの南側にある旧幸田産婦人科の建物を改装したものである。事業所内保育事業としたのは、利用定員にハピネス歯科の従業員の子どもを受け入れる従業員枠と幸田町の子どもを受け入れる地域枠を設定しているためである。認可開設予定日は令和5年4月1日である。</p> |
| 町長 | ○説明に対する意見聴取 |
| 伊藤委員 | <p>○意見</p> <p>長年小学校に勤めており、発達障害の場合、小学校より前にどういう育ち方をとったかということが大切だということがわかってきた。幼児教育は非常に大切だが、割と十分なお金がかけてきてなかった。町としても幼児教育に関して積極的に投資をしていくことが大事だと思う。幼児教育は、人件費がそれなりにかかるけれども、大学などと比べれば、はるかに安く、小さい時に投資をすれば大きく返ってくるといこうことを聞いたことがある。町としても力を入れていただき、将来の幸田町を支える人材の育成につなげてほしい。</p> |
| 壁谷委員 | <p>○意見</p> <p>未満児である0歳児から2歳児の受入は公立ではなかなか難しく、小規模保育が進むことは非常にいいことであると思う。ただ、保護者の保育料の負担の格差があるのかという疑問がある。</p> <p>また発達障害の疑いのあるお子さんに対して対応についても、町立だと加配がつけられないといった問題がある。例えば2歳児だと1対6という基準があるが、そこに発達障害の疑いのある子がいるとすごく大変であるという声も聴く。そういったケアもしながら保育ができ</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>るとうれい。お子さんや保護者にとって、使いやすい施設であってほしい。</p> |
| 町長 | <p>保育園と私立の負担については、思うところはある。公約の中で給食費（主食費）の無償化を掲げており、来年度予算に入れようかと思っているところである。近隣だと西尾市は全部無償化して、蒲郡市は主食費を今年の4月から無償化している。逆に岡崎市は値上げをしていくという方針で、近隣の地域でも市ごとに違っている。幸田町は財政上の余裕があるわけではないが、保育料の格差も考えていかないといけないと思う。</p> |
| 立花委員 | <p>○意見</p> <p>以前、私立の保育所に勤務したことがあるが、民間と町立保育園だと方針が違っていると思うことはある。世間一般に共働きが当たり前になってきていて、自分も大学生の子どもを育てた経験から、1人の子どもを育てるのにとってもお金がかかるなということを実感している。0歳から預けて働きたいという親はいるかと思うが、民間と町の施設の保育料などの差がありすぎてもよくない。町立保育園に入れたかったけれども、入れなくて民間に行くという人もいるかもしれないので、バランスはとれてほしいと思う。</p> |
| 町長 | <p>教育方針はそれぞれ違うが、町立保育園は一律的な対応の中で、早くから預けたいという方々を受け入れる公共施設としての役割を担っている。しかし、加配のことを含めて柔軟性のある対応ができるといいと思っている。</p> |
| 中西委員 | <p>○意見</p> <p>町が目指している、安心して子どもを育てることができる環境ということにおいて、この取組は大事だと思う。人格形成前における0歳児から3歳児の間は、子どもにとっても大事な時期ではないかと理解している。多様性ということが言われる社会で、このような施設が対応していけるように、整備されるのはよいことだと思う。</p> |
| 町長 | <p>その他、事務局から補足説明はあるか。</p> |
| 事務局 | <p>特になし。</p> |
| 町長 | <p>本日は貴重な御意見をありがとうございました。予定時間となったため、事務局にお返りする。</p> |
| 企画部長 | <p>今年度の総合教育会議は以上で終了とさせていただきます。今後は緊急の事案が発生した場合等、必要に応じて開催させていただきます。</p> |
| 副町長 | <p>○閉会挨拶</p> <p>本日は第2回総合教育会議をお忙しいところ御出席をありがとうございました。本日いただいた貴重な御意見については、今後に生かしていきたいと考えている。以上で、本日の総合教育会議を閉会とする。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> |